



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月13日

上場会社名 株式会社アクアライン 上場取引所 東
 コード番号 6173 URL <http://www.aqualine.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大垣内 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理部長 (氏名) 平野 真生 (TEL) 03-6758-5588
 四半期報告書提出予定日 2020年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	2,783	△6.0	△231	—	△224	—	△150	—
2020年2月期第2四半期	2,962	2.5	△36	—	△37	—	△38	—

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 △150百万円(—%) 2020年2月期第2四半期 △38百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	△74.38	—
2020年2月期第2四半期	△18.97	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	3,067	1,509	32.1
2020年2月期	1,906	1,157	60.7

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 984百万円 2020年2月期 1,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,286	4.6	△150	—	△159	—	△171	—	85.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社E P A R Kくらしのレスキュー、除外 1社(社名) —

(注) 株式会社E P A R Kくらしのレスキューは、2020年9月1日付で、株式会社E P A R Kレスキューから社名を変更しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年2月期2Q	2,032,600株	2020年2月期	2,032,600株
2021年2月期2Q	36,303株	2020年2月期	269株
2021年2月期2Q	2,025,342株	2020年2月期2Q	2,032,331株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、個人消費や経営活動が大幅に制約を受け景気が悪化しております。このところ持ち直しの動きも見られますが、今後も先行きは予断を許さない状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、少子高齢化という人口構造の変化により、新規住宅着工戸数の減少が予測されており、既存住宅の平均築年数は上昇しております。そのため、住宅の老朽化と共に、水まわりのトラブルを含む住宅の不具合は増える傾向にあります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言発令期間中におきましては緊急を要しない修理依頼の減少が生じました。

このような環境のもとで、当社グループは、生活救急サービスを検索できるポータルサイト「E PARK 暮らしのレスキュー」(旧・E PARK レスキュー)の運営、様々な検索ポータルサイトとの連携を実現した店舗・施設向けホームページサービス「ローカルプレイス」のうち生活救急領域の広告販売を行っている株式会社E PARK 暮らしのレスキュー(旧・株式会社E PARK レスキュー)の株式を取得し子会社化いたしました。

当第2四半期連結累計期間は、主力事業であります水まわり緊急修理サービス事業では、現場サービススタッフ全員にマスクを着用させるなど新型コロナウイルス感染症対策に努める一方で、業務提携先との関係強化や、採用・研修・教育に注力してまいりました。ミネラルウォーター事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により販売が大きく落ち込みましたが、徐々に回復へ進んでおります。フィットネス事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、パーソナルトレーニングジムの営業を自粛いたしました。現在は営業を再開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,783,827千円(前年同期比6.0%減)となりました。営業損失は、のれん償却額の計上等により231,518千円(前年同期は36,515千円の営業損失)、経常損失は224,563千円(前年同期は37,548千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は150,634千円(前年同期は38,550千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

- ・水まわり緊急修理サービス事業

現場サービススタッフ全員にマスクを着用させるなど新型コロナウイルス感染症対策に努めましたが、緊急事態宣言発令期間中におきましては緊急性を要しない修理依頼の減少が生じました。緊急事態宣言解除後の6月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準へと回復し、採用活動に注力しております。また、業務提携先との関係強化や、継続的な研修・教育に注力してまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は2,450,753千円(前年同期比2.8%減)、営業損失は127,266千円(前年同期は49,938千円の営業損失)となりました。

- ・広告メディア事業

生活救急サービスを検索できるポータルサイト「E PARK 暮らしのレスキュー」(旧・E PARK レスキュー)の加盟店募集に注力いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は53,540千円、営業損失は109,450千円となりました。

- ・ミネラルウォーター事業

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、特にホテル、大学等への販売が大きく落ち込みましたが、徐々に回復へ進んでおります。

以上の結果、当事業の売上高は256,879千円(前年同期比37.9%減)、営業利益は10,101千円(前年同期比55.5%減)となりました。

- ・フィットネス事業

健康志向の高まりを背景に水まわり緊急修理サービス事業で培った「サービス力」を活かしてパーソナルトレーニングジムを2店舗運営しております。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、営業を自粛いたしました。現在は営業を再開しております。

以上の結果、当事業の売上高は22,653千円(前年同期比18.8%減)、営業損失は4,931千円(前年同期は10,873千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,161,081千円増加し、3,067,970千円となりました。これは主に、のれんが879,199千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ809,519千円増加し、1,558,506千円となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が555,836千円、短期借入金が175,000千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ351,562千円増加し、1,509,463千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金が減少したものの、非支配株主持分が524,876千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期の業績予想につきましては、2020年7月14日付の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表しました内容に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況が現状以上に悪化せず、消費動向は徐々に回復の方向に進みながらも、今期中は影響が残ることを前提としております。同感染症の収束時期は依然として不透明であることから、今後の感染拡大や収束の状況等によっては、連結業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	729,735	837,749
売掛金	365,515	432,128
商品及び製品	10,916	14,215
原材料及び貯蔵品	148,626	169,738
その他	174,616	175,564
貸倒引当金	△834	△905
流動資産合計	1,428,575	1,628,490
固定資産		
有形固定資産	319,907	342,715
無形固定資産		
のれん	—	879,199
その他	32,901	58,010
無形固定資産合計	32,901	937,210
投資その他の資産		
その他	134,960	169,012
貸倒引当金	△9,456	△9,459
投資その他の資産合計	125,503	159,553
固定資産合計	478,313	1,439,479
資産合計	1,906,888	3,067,970
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,626	134,889
短期借入金	—	175,000
1年内返済予定の長期借入金	15,000	134,988
未払金	324,020	391,188
工事補償引当金	1,375	1,358
その他	140,875	103,251
流動負債合計	599,897	940,675
固定負債		
長期借入金	11,250	447,098
その他	137,839	170,733
固定負債合計	149,089	617,831
負債合計	748,987	1,558,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	280,309	280,309
資本剰余金	200,309	200,309
利益剰余金	677,984	527,349
自己株式	△702	△23,382
株主資本合計	1,157,901	984,586
非支配株主持分	—	524,876
純資産合計	1,157,901	1,509,463
負債純資産合計	1,906,888	3,067,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	2,962,603	2,783,827
売上原価	1,690,356	1,583,313
売上総利益	1,272,247	1,200,514
販売費及び一般管理費	1,308,762	1,432,032
営業損失(△)	△36,515	△231,518
営業外収益		
受取利息	84	89
受取配当金	6	6
受取手数料	180	—
保険差益	271	940
助成金収入	—	10,155
その他	12	583
営業外収益合計	555	11,774
営業外費用		
支払利息	855	2,998
支払補償費	517	1,463
リース解約損	14	—
その他	200	357
営業外費用合計	1,587	4,819
経常損失(△)	△37,548	△224,563
特別利益		
固定資産売却益	17	7
特別利益合計	17	7
特別損失		
固定資産除却損	—	329
特別損失合計	—	329
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,530	△224,886
法人税、住民税及び事業税	1,005	1,073
法人税等調整額	15	△36,702
法人税等合計	1,020	△35,628
四半期純損失(△)	△38,550	△189,257
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△38,623
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,550	△150,634

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純損失(△)	△38,550	△189,257
四半期包括利益	△38,550	△189,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,550	△150,634
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△38,623

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響による会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大による経営成績等への影響が、当連結会計年度末に回復していくものと仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産回収可能性に関する会計上の見積りを行っております。

その結果として、当第2四半期連結会計期間において減損損失は計上せず、繰延税金資産は59,042千円計上しております。